

## 高2 大学受験対策スタート 結果が分かれるポイントがこの夏

### 1. どの入試で受験しても必要になる「基本学力」

入試の形式は大きく以下の3つに分類されます。

**一般選抜** 主に学力試験で選抜を行う入試。旧入試と比較して「思考力・判断力・表現力」を問う問題が充実する。

**学校推薦型選抜** 原則として在籍高校長の推薦を受けることで受験する入試。旧指定校推薦および旧公募制推薦。

**総合型選抜** AP（アドミッション・ポリシー）に基づき受験生の適性や志望動機を書類選考・面接などで選抜する入試。旧AO入試。

旧入試においては、指定校推薦やAO入試では学力試験は課されないものがほとんどでした。前者であれば「高校の成績をきちんと取る」、後者であれば「自分の将来のビジョンと大学の求める人物像の一致を文章や面接でアピールする」ことで合格ができました。しかし現在の入試ではいずれの入試においても「学力検査不問」の項目が削除され、学力試験を必須化しています（どのような形で学力を測定するのかは大学ごとに異なります）。つまり、「**大学に行くためには必ず一定レベルの学力が必要になる**」ということです。

### 2. 難関大合格者の90%は高2で本格的受験勉強を開始。

言うまでもなく、大学入試に向けた受験勉強は早期にスタートするほど有利です。難関大学（私立でいえばGMARCH・関関同立以上）に合格した人から取ったアンケートでは、90%が高2の段階で本格的な受験勉強を開始しています。では今年中に本格スタートすれば難関大学に合格できるのかといえば、それほど単純な話ではありません。以下のように考えましょう。



ヤバい。A大に行きたいけど、まだまだ全然学力不足だ・・・でも絶対行きたい



ぼくの学力からA大に合格となると決して時間に余裕があるとは言えないぞ！



みんなが本腰を入れる前に受験勉強スタートだ！絶対に後悔したくない！

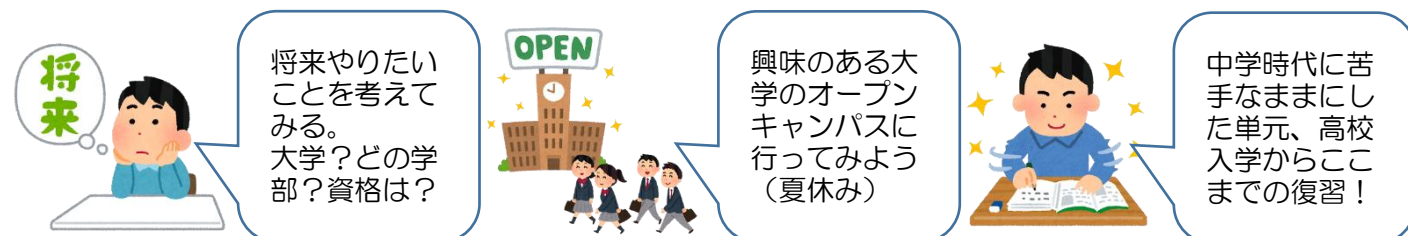
### 3. 【2026年最新情報】新たな入試で、大学合格は英検®で決まる！

2024年冬、東洋大学、大東文化大学が年内に実施される「基礎学力型入試」をスタートしました。出願に成績基準が不要で、試験は「英語・国語」または「英語・数学」の2教科入試。内容も名称の通り基本的な問題で構成されます。教科負担が小さいことから、「推薦入試がダメだったら」「総合型選抜がダメだったら」という場合のラストチャンスに使える上に、合格すれば年明けの難関大に「合格校を確保してチャレンジできる」こともあり、今年度から一気に普及すると見られている新しい入試です（実は関西では以前から行われていました）。この入試では英検®を持っていると英語の負担が実質ゼロになるなど、事実上1教科入試になるような形も見

込まれるため、これからの入試は「英検®2級を持っている」ことが極めて重要になると思われます。高2の今から英検にチャレンジしていけば、大学入試が一気に有利になります。

## 4. 「まだ将来のイメージができない」そんなあなたは夏をこう過ごそう

目標もなく努力はできません。かといって待っていても目標は決まりません（ある日突然、天啓のように「自分は〇〇大学に行かなくては！」と思うようなことはありません）。ある程度自分で考えていかなければいけません。この夏、こんなことをやってみましょう。



たとえば「大学に行く」までは決まっているならば、まずは自分の知っている大学の公式 Web サイトを訪ねてみましょう。その大学でどのようなことが学べるのかを調べてみて、興味のわくものがあれば、「他にどの大学で学べるのだろう」と広げていくと良いでしょう。

## 5. 受験に必要な科目などを確認する

受験に必要な科目というのは大学ごとに異なりますが、進路の種別によってほぼ固定化されています。自分の志望系統を決め、受験科目を確定させてしっかりとした対策を始めましょう。

